保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

❶ 保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。 **保証期間はお買い上げの日から1年です。**	
❷ 修理を依頼されるときは 出張修理	保証期間中	修理に際しましては保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
	保証期間経過後	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
❸ 補修用性能部品の保有期間	温水洗浄便座の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
❹ ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
❺ 修理料金のしくみ	修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。 技術料：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。 部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 出張料：商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。	

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
（受付時間）
9:00～19:00（365日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
（受付時間）
9：00～17：30
携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
保証期間	お買い上げ日から本体1年です。

- 「出張修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03（3260）9611　FAX.03（3260）9739

DL940A-QJCP3
CS0901-3051

取扱説明書

日立リビングサプライ

保証書別添付　保証書は別についていますので、お買い上げの販売店の記入をお受けください。

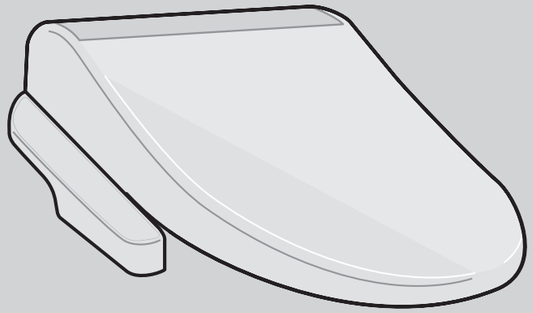
設置工事説明書別添付

家庭用

温水洗浄便座

HOB-1000形

このたびは温水洗浄便座をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは設置工事説明書と保証書とともに 大切に保存してください。



目　次

ご使用前
■安全上のご注意（必ずお守りください）……2
■各部の名前……6
■ご使用前の確認……7
（アースの確認/電源ランプの点灯を確認）

使うとき
■洗浄をする……8
■調節をする（洗浄強さ／温水温度／便座温度）……10
■節電をする（節電／8時間切）……11

必要なとき
■お手入れ……12
■凍結予防・長期間使用しないときは……16
■定期点検……20
■Q&A（よくあるご質問）……21
■故障かな?……22
■仕様……23
■保証とアフターサービス……裏表紙

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

- この温水洗浄便座は一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお読みいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、過った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください

⚠警告	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して過った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ この記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

⃠ この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。

❗ この記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

⚠警告

火災、感電、ショートのおそれ

電源プラグやコードは正しく使う
（火災や感電の原因となります）

❗
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く
- 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

⃠
- 電源コード・電源プラグを傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない
  →コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100 V以外で使用しない

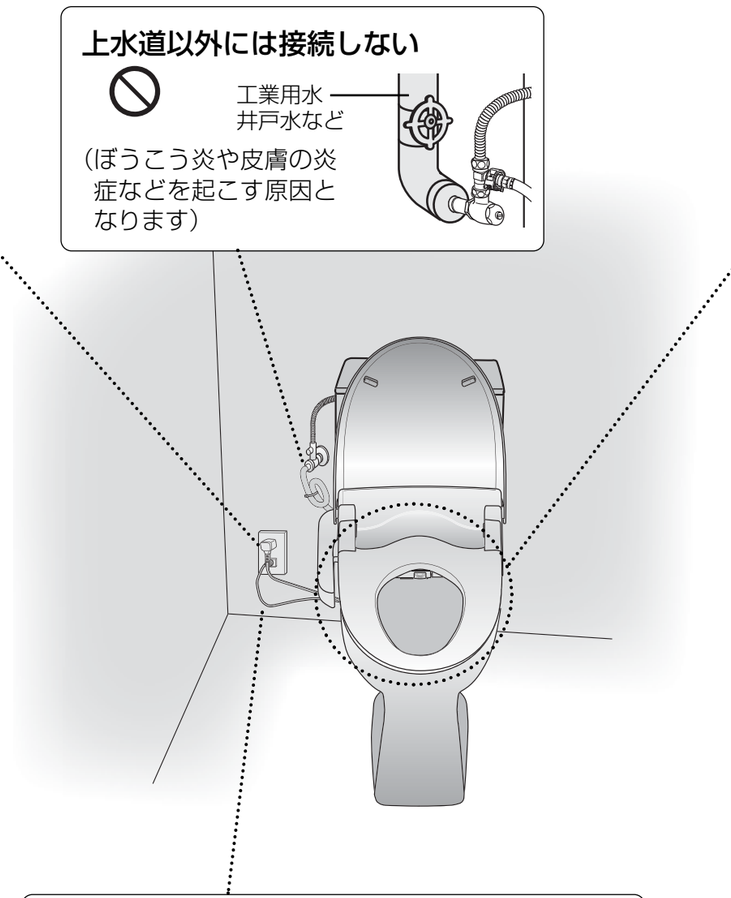
本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない
（感電やショートして火災の原因となります）

水ぬれ禁止

上水道以外には接続しない

⃠ 工業用水 井戸水など

（ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因となります）



アース工事を確認する

［アース線接続の一例］

アース線接続

アース線

（アース工事がされていないと漏電のときに感電する原因となります）
→アース工事を販売店にご依頼ください。

低温やけどのおそれ

次のような方が使用するときは、便座の温度調節を「低」または「切」にする

❗ お子様、お年寄り、皮膚の弱い方、皮膚感覚が弱い方、自分で温度調節できない方、眠気を誘う薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方、深酒、疲労の激しい方

（長時間、皮膚の同じ場所が便座に触れると、低温やけどの原因となります）

バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

水場使用禁止

（火災や感電の原因となります）

改造はしない
また修理技術者以外の人が、分解したり修理をしない

分解禁止

（感電や発火したり、異常作動してけがの原因となります）
→修理は販売店にご相談ください。

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉める

❗（発煙・発火・感電のおそれがあります）

異常・故障例
- 本体や便座にひびや割れが入っている
- 異常な音やこげ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- 本体や操作部が異常に熱い

すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

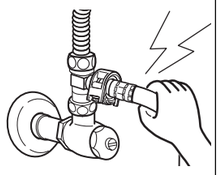
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠注意

水漏れのおそれ

本体脱着時などに給水ホースに力を加えない

（分岐水栓のナットやクイックファスナーがゆるんで水漏れの原因となります）



水道水フィルター（水抜き栓）を外すときは、必ず止水栓を閉める

（止水栓を閉めないと、水漏れの原因となります）

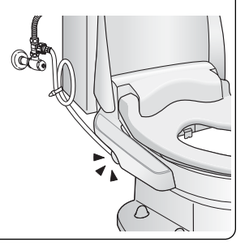
凍結予防をする【16・17ページ】

（凍結すると、配管や本体内部が破損して水漏れの原因となります）

→水抜きなど、凍結予防をしてください。

いったん、外した水道水フィルター（水抜き栓）はしっかり閉める

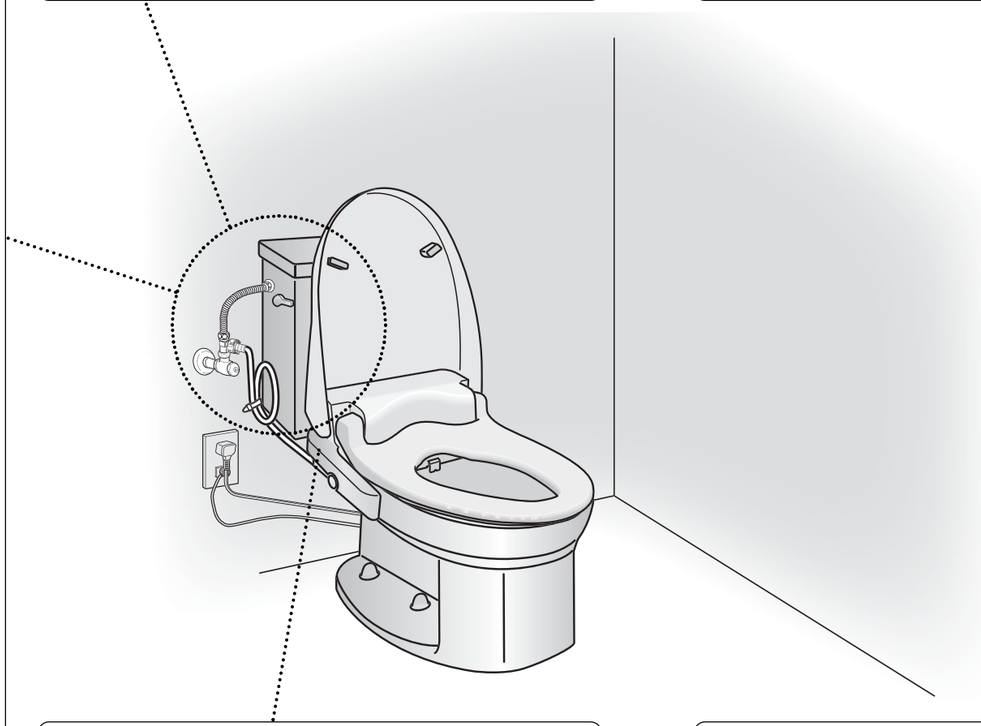
（しっかり閉めないと、水漏れの原因となります）



長期間使用しないときは本体の水を抜く【16・17ページ】

（水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となります）

→水抜きをしてから電源プラグを抜いてください。



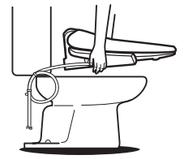
漏電検知の作動を確認する【20ページ】

（故障のまま使用すると、漏電のときに感電する原因となります）

→故障の場合は販売店にご相談ください。

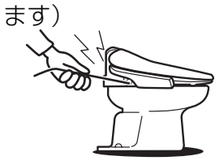
持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

（便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因となります）



開口部などから針金など金属を入れない

（感電の原因となります）



けがのおそれ

便ふたに寄りかからない

（便ふたが割れて転倒したり、けがをする原因となります）

乗ったり衝撃を加えたりしない

（転倒したり、割れてけがをする原因となります）

本体操作部に乗らない、手をついて座ったり、立ち上がったりしない

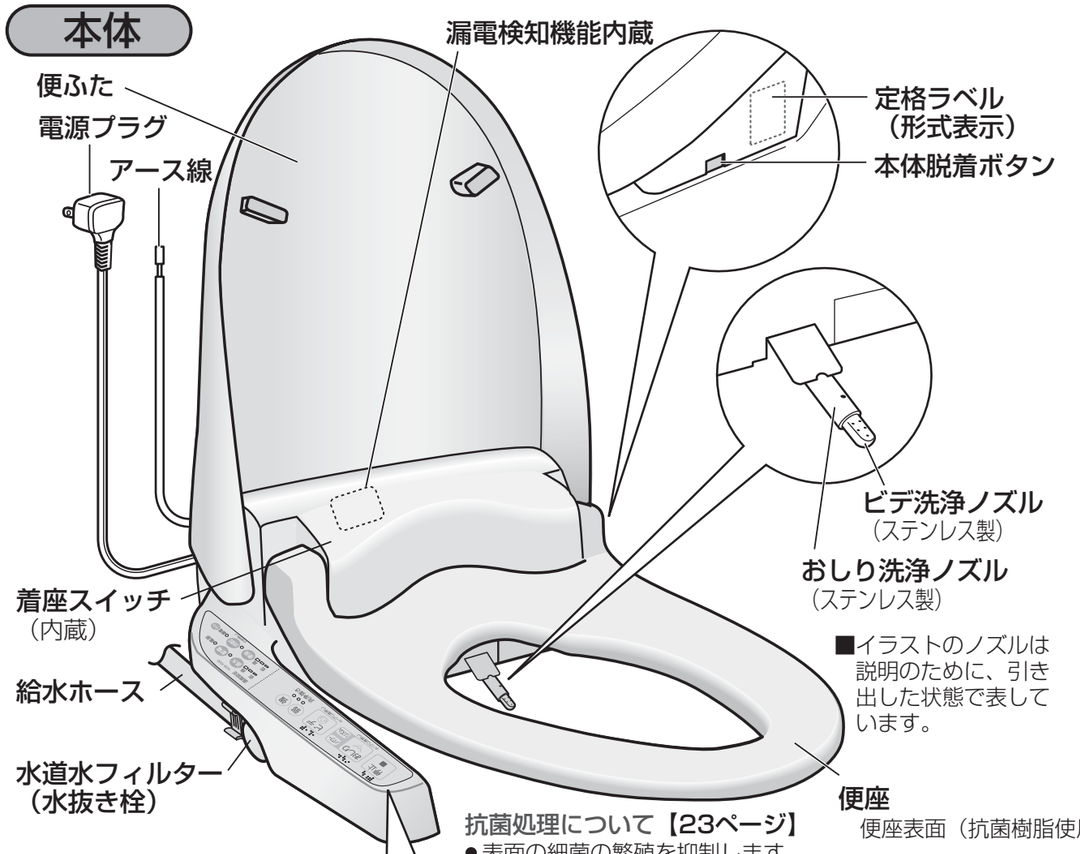
（転倒したり、けがの原因となります）

便ふた・便座開閉時に、指などをはさまないよう注意する

（はさまれると、けがをする原因となります）

各部の名前

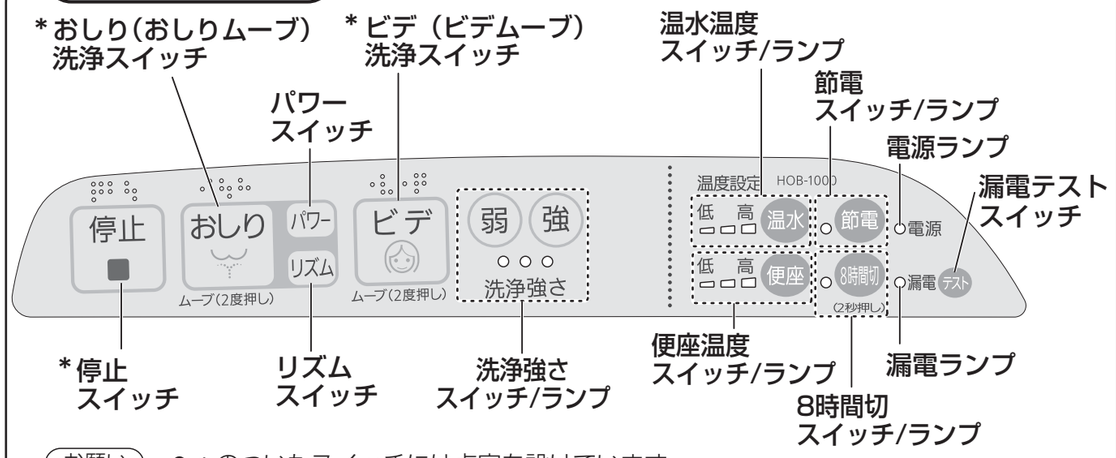
本体



■イラストのノズルは説明のために、引き出した状態で表しています。

抗菌処理について【23ページ】
- 表面の細菌の繁殖を抑制します。
- 表面にほこりや油膜等がつくと十分な抗菌効果が得られないことがあります。

本体操作部



お願い
- ＊のついたスイッチには点字を設けています。
- 傷を防止するために本体操作部表面に**保護シート**を貼っています。**不要な場合は取り除いてください。**

ご使用前の確認

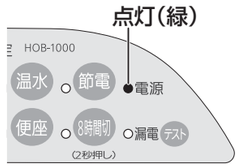
アース線が接続されていることを確認する

アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電する原因となります。**【2ページ】**

［アース線接続の一例］

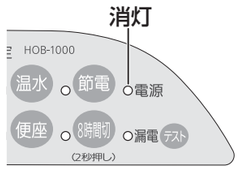
電源ランプの点灯（緑）を確認する

■本体の電源ランプが点灯している場合

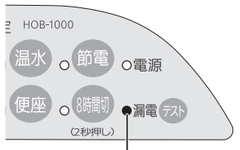


→ 使えます

■本体の電源ランプが消灯している場合

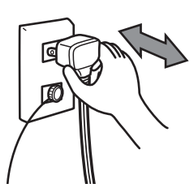


■本体の漏電ランプが点灯している場合



→

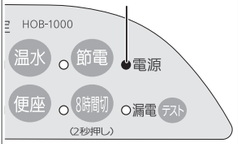
電源プラグを抜く
- 漏電ランプが消灯していることを確認



再度電源プラグを差し込む

→

約10秒間点滅後点灯



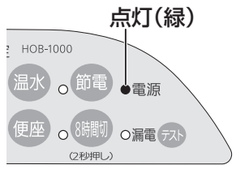
→ 使えます

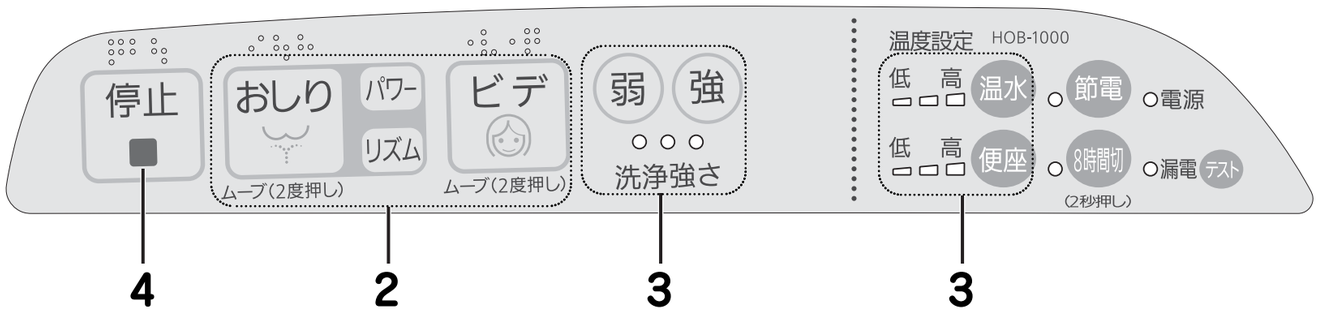
お知らせ
- 漏電テストスイッチを押すと漏電ランプが点灯します。【20ページ】
- 電源プラグを差し直しても直らないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

洗浄をする

ご使用の前に本体の電源ランプが点灯していることを確認してください。

消灯している場合は電源プラグをコンセントに差し直してください。（電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わります）





1 座る

2 おしり リズム パワー ビデ いずれかを押し、洗浄する

- スイッチを押すと、ノズル洗浄をし、約3秒後に温水が出ます。
- お好みに合わせていろいろな洗いかたができます。

おしり

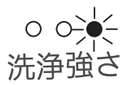
2度押しするとおしりムーブになります。

- ノズルが自動で前後に動きます。

パワー

〈しっかり洗いたいときに…〉

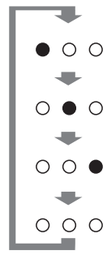
洗浄強さランプが「強」で点滅します。



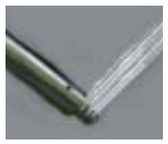
リズム

〈便秘のときの排便促進に…〉

洗浄強さを強から弱に自動的に繰り返し、おしりを刺激します。
洗浄強さランプの点灯位置が変化します。（洗浄強さとは連動しません）



ビデ



2度押しするとビデムーブになります。

- ノズルが自動で前後に動きます。

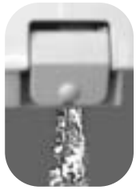
（イラスト中の● は点灯を表示しています）

3 弱 強 温水 便座 お好みで調節する

【10～11ページ】

4 停止 を押す

- 洗浄が止まります。
- しばらくしてノズルを洗浄します。



- 使い終わりに便座から立ち上がるとノズルを洗浄します。

お知らせ

- 本体の温水タンクは0.85 Lです。中間の洗浄強さで、約50秒使うと水にかわります。洗浄を止め、約5～7分待つとお湯になります。（水温によって異なります）
- 着座したとき少しがたつきがありますが、これは本体が便器から脱着できる構造のためで、故障ではありません。
- 便座に座ったとき「カチッ」と音がしますが、これは着座スイッチが入る音なので異常ではありません。
- 洗浄（おしり・ビデ）は着座しないと作動しません。

お知らせ

- ノズルを正しく作動させるため、便座の中央部より、やや後ろに座ってください。体重10 kg以下の方は、着座スイッチが入らないことがあります。
- 洗浄停止中、ノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水が温まったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。（洗浄後、約7～8分）
- 安全や節電のために、洗浄は約5分間連続使用すると、自動的に停止します。

調節をする（洗浄強さ/温水温度/便座温度）

洗浄強さ

おしり、ビデの洗浄中に調節できます。

- 弱 または 強 を押すごとに、強さが変わります。
- 3段階で強さを表示します。
- 前回使用した強さを記憶しています。

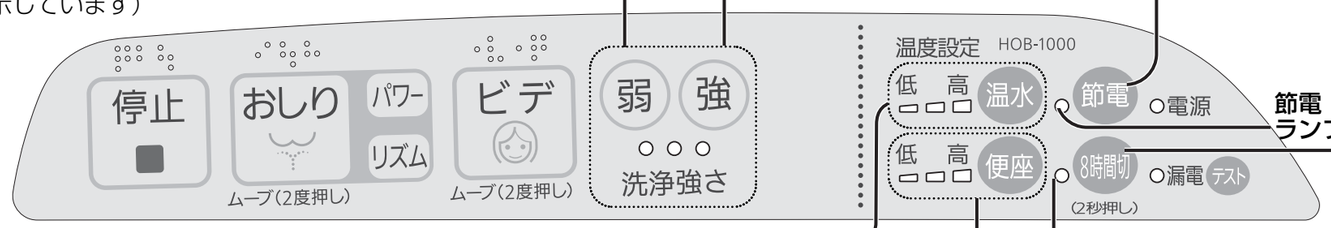
強さ表示（ランプ点灯）

○ ● ○
洗浄強さ

お願い

水圧の低いところでは、水が出ない場合があります。洗浄強さを「強め」でご使用ください。

（イラスト中の● は点灯を表示しています）



温水温度

温水 を押すごとに、
温度を3段階に設定できます。
ランプが下図のように切り換わります。

- 洗浄を使用していない状態でも 温水 を押すごとに、温度が変わります。（洗浄していなくてもお好みの温度に設定しています）

温度表示（ランプ点灯）

低 高 → 低 高 → 低 高 → 低 高

「切」 水温 ／ 「低」 約37 ℃ ／ 「中」 約38.5 ℃ ／ 「高」 約40 ℃

便座温度

便座 を押すごとに、
温度を3段階に設定できます。
ランプが下図のように切り換わります。

温度表示（ランプ点灯）

低 高 → 低 高 → 低 高 → 低 高

「切」 室温 ／ 「低」 約34 ℃ ／ 「中」 約38 ℃ ／ 「高」 約40 ℃

（イラスト中の▬ は点灯を表示しています）

節電をする（節電/8時間切）

節電（便座温度・温水温度）

お使いにならない時間帯をマイコンが記憶し、その時間帯は便座温度、温水温度を自動的に低くすることにより節電します。

節電 を押す

- 節電ランプが点灯します。

▶ 節電中、あまり使用しない時間帯に着座すると…

- 冬場の夜間などに着座すると、最初は冷たく感じますが、便座は約2～3分、温水は約3～5分で温かくなってきます。

▶ 節電をやめたいときは… 再度 節電 を押す

- 節電ランプが消灯します。
- あらかじめ設定されていた便座温度、温水温度に自動的に戻ります。（あたたまるまでに約3～5分かかります）

8時間切（便座温度・温水温度）

便座ヒーターと温水ヒーターへの通電を8時間停止し、節電します。
8時間停止後は、前に設定された便座温度ランプ、温水温度ランプが点灯します。

- 外出中や就寝時にお使いください。
- 節電中にも設定ができます。

8時間切 を2秒以上押す

- 8時間切ランプが点灯します。
- 便座温度ランプ、温水温度ランプが消灯します。

▶ 8時間切作動中に着座すると…

便座温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約10～12分かかります。（室温によって異なります）
温水温度：着座と同時に通電します。あたたまるまでに約5～7分かかります。（水温によって異なります）

- 着座中は便座温度ランプ、温水温度ランプが点灯します。
- 便座から立ち上がると8時間切作動中に戻り、便座ヒーターと温水ヒーターへの通電を停止します。

▶ 8時間切をやめたいときは…

再度 8時間切 を押す

- 8時間切ランプが消灯します。

お知らせ

- 電源プラグを抜いたときや停電のとき、または漏電テストスイッチを押したときは「節電」「8時間切」の設定が取り消されます。

お手入れ（本体・ロータンク/ノズル）

本体・ロータンクなどのお手入れ（日常）

⚠警告

本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない

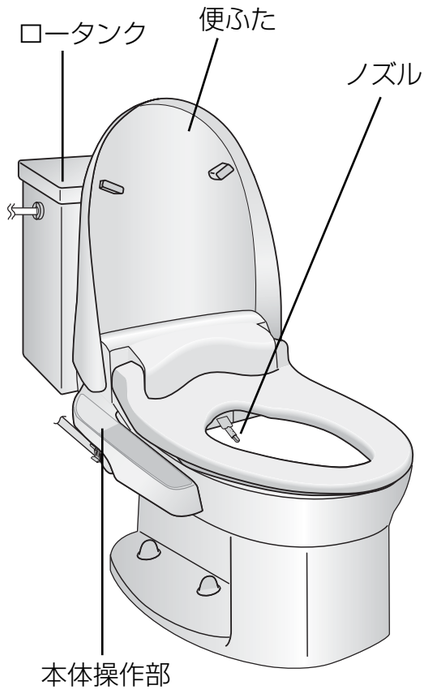
水ぬれ禁止

感電やショートして火災の原因となります。

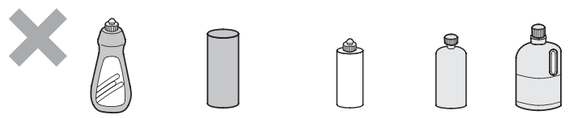
1 柔らかい布で**水ぶきをする**

（水をかけて洗わない、乾いた布やトイレットペーパーは傷の原因となります）

2 **取れにくい汚れは中性洗剤をうすめて使う**



下記の洗剤は、本体内の金属部分などを腐食させたり、本体や便座などを傷めますので使用しないでください。



化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

お願い
- 便器を洗うときのトイレ用洗浄剤は本体にかからないようにしてください。また揮発性ガスにより本体を傷めることがあります。手際よく短時間にお手入れしてください。
- 梅雨時や冬の暖房時の結露はそのままにしておくと、床や壁をぬらし、かびの原因となります。ふき取り、換気をしてください。

お知らせ
- 本体や便座などに尿が付着したまま放置されますと、ピンク、茶色等のしみになることがあります。

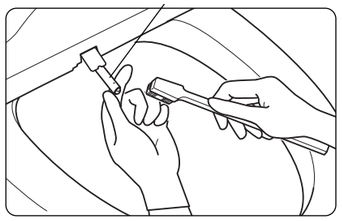
ノズルのお手入れ（週1回）

ノズルをお手入れするときは、ゴム手袋を着用してください。

1 便ふた、便座を上げる
本体操作部の おしり を押す

おしり洗浄ノズルが出る。（ノズルから洗浄水がでます）

おしり洗浄
ノズル

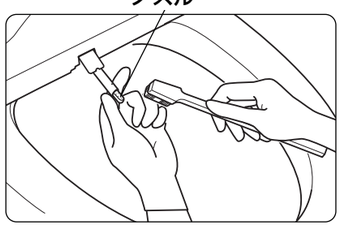


2 ノズルを軽く手で持ち、
歯ブラシなどで洗う

3 **再度 おしり を押す**

ビデ洗浄ノズルが出る。（ノズルから洗浄水がでます）

ビデ洗浄
ノズル



4 ノズルを軽く手で持ち、
歯ブラシなどで洗う

5 **再度 おしり を押す**

ノズルが戻る。（ノズル洗浄水が約3秒間でます）

お願い
- ノズルのお手入れ時にノズルを曲げないようご注意ください。
- ノズルを無理に手で引っ張り出さないでください。故障の原因となります。もし、誤って引っ張り出した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、30秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。
- お手入れのとき、ノズルを出した状態でそのまま放置すると約3分後にノズルが戻ります。

お手入れ（本体裏面/便ふた）

本体裏面のお手入れ（週1回）

1 お手入れの前に電源プラグを
コンセントから抜く

2

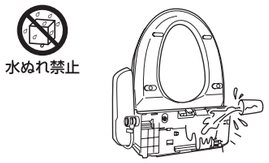
本体を
取り外す

本体脱着ボタンを押したまま、本体の両側部を持ち上げながら手前に引き、便器の上に置く

- 便器から本体が手前に少し移動します。

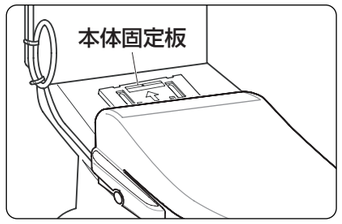
⚠警告

本体、本体裏面や電源プラグに水や洗剤などをかけない



（感電やショートして火災の原因となります）

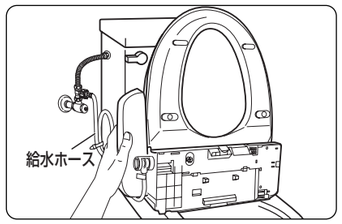
3



かくれた便器部分などの汚れをふきとる

- 水でぬらしたやわらかい布を十分にしぼってふいてください。

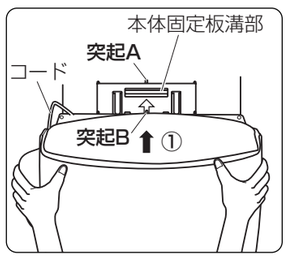
4

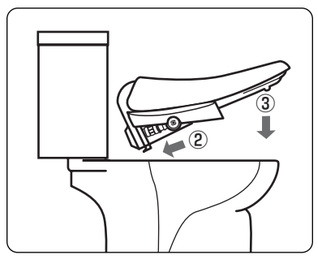


本体裏面を掃除する

- 本体を便器の上に立てた状態にし、便座が倒れないように手で支えて、本体裏面の汚れをふきとってください。水はかけないでください。

5





本体を取り付ける

①左図のように突起Aに突起Bを合わせる。
②手前を浮かせた状態で斜めに差し込む。
③「カチッ」と音がするまで上から押す。

- コードを本体と便器の間にはさみ込まないようにしてください。
- 本体を軽く持ち上げ、しっかりと固定されていることを確認してください。

6 電源プラグをコンセントに差し込む

お願い

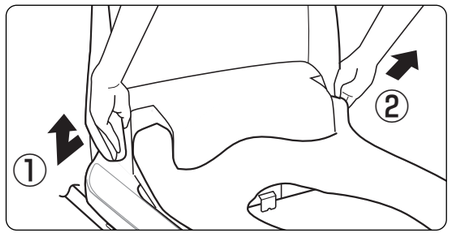
- 本体を手前に引くとき〈手順**2**〉や立てるとき〈手順**4**〉は、給水ホースなどに無理な力を加えないよう注意してください。
- 本体を裏向けにしないでください。傷の原因となります。
- 本体を便器にセットしたとき、少しがたつきがありますが、これは脱着できる構造のためで故障ではありません。

便ふたのお手入れ（週1回）

1 お手入れの前に電源プラグを
コンセントから抜く

2 便ふたを取り外す

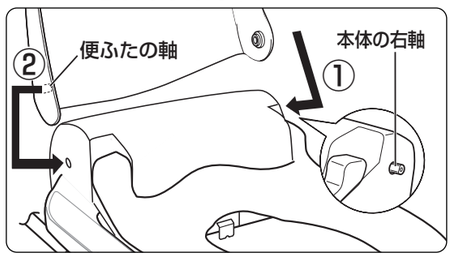
便ふたを立てた状態にし
①便ふたの左側を広げて引き上げ
②本体の右軸から外す



3 便ふたの汚れをふき取る

4 便ふたを取り付ける

①本体の右軸に便ふたを差し込み
②本体左の穴に便ふたの軸を入れる
（正しく取り付けないと便ふたが外れることがあります）



5 電源プラグをコンセントに
差し込む

凍結予防・長期間使用しないときは

■次のようなときは水抜きをしてください

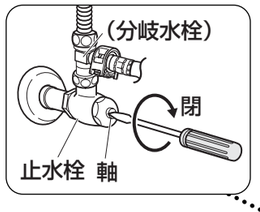
- 寒い地域で本体内の水が凍結するとき……水抜きしないと凍結し、水漏れの原因となります。
- 1週間以上使用しないとき……水抜きしないと水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となります。
- 移設など本体を移動されるとき……水抜きしないと本体から水が漏れたり、故障の原因となります。
- 別荘など長期間使用しないときは必ず行ってください。

ロータンク式

1 **電源プラグをコンセントから抜く**

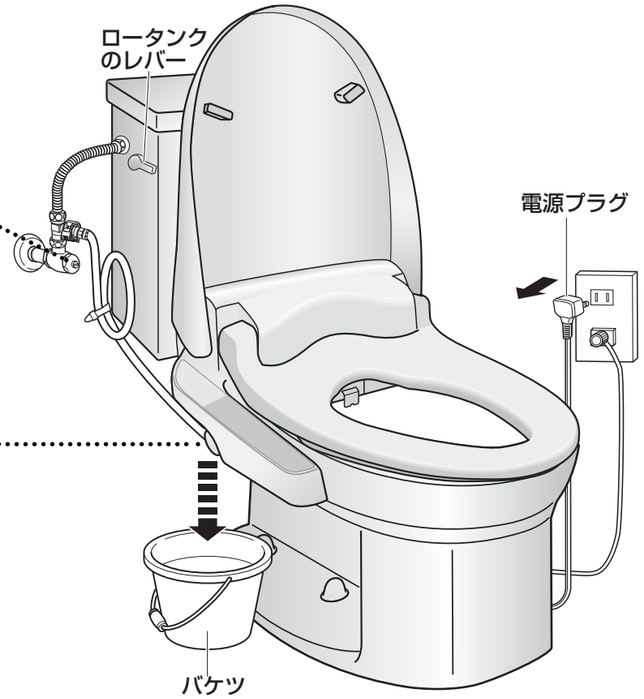
- 抜かないと故障の原因となります。

2 **止水栓をマイナスドライバーまたは同梱のスパナで全閉にし、給水を止める**



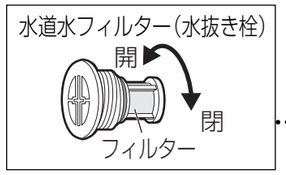
3 **ロータンクのレバーを回す**

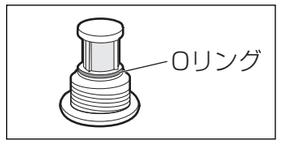
- ロータンク内の水を流し、給水しないことを確認してください。



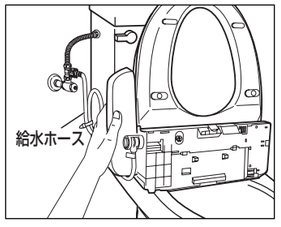
4 バケツなどで受けて
水道水フィルター（水抜き栓）をマイナスドライバーまたはプラスドライバーでゆるめて取り外す
（トイレが狭くドライバーが入らない場合は、**5**の手順で本体をずらしてゆるめてください。）

- 本体内の水が出ます。
- 水道水フィルター（水抜き栓）のフィルターが汚れている場合は、歯ブラシなどでお手入れしてください。
- 取り外した水道水フィルター（水抜き栓）を置く時は、Oリングにゴミ等が付着しないよう、つまみ部を下にして置いてください。



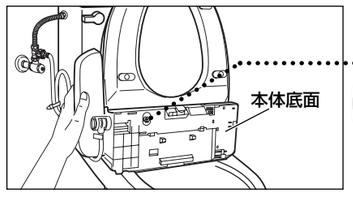


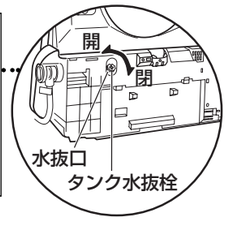
5 **本体脱着ボタンを押したまま、本体の両側部を持ち上げながら手前に引き、便器の上に立てる**



6 **本体底面にあるタンク水抜栓を開側にプラスドライバーなどで回して外し、本体底面を下にして排水（水抜き）する**

- タンク水抜栓を落とさないように注意してください。





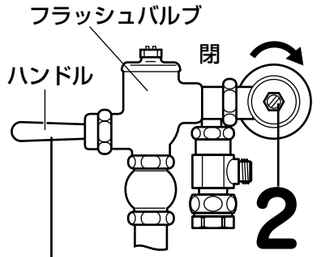
お願い
便器内に水が流れるよう排水してください。

7 水抜き後、
タンク水抜栓と、水道水フィルター（水抜き栓）を元のように取り付け、本体を元の位置（14ページの手順5参照）に戻す

水道水フィルター（水抜き栓）を確実に閉めないと水漏れをおこします。

フラッシュバルブ式

1 **電源プラグをコンセントから抜く**



2 **マイナスドライバーまたは同梱のスパナで閉める**

- 給水が止まります。

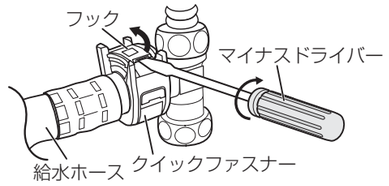
3 **ハンドルを押す**
→以下、ロータンク式、（左記）の**4**～**7**の手順で、行う。

移設などで給水ホースを外すとき

1 電源プラグを
コンセントから抜く

2 止水栓を全閉にし
給水を止める

3 **マイナスドライバーをフック下側に押し込み回す**



お願い
取り外す必要のないときは、外さないでください。

■水抜き後に再び使用するときは…

【18ページ】に従って使用できることを確認してください。

凍結予防・長期間使用しないときは

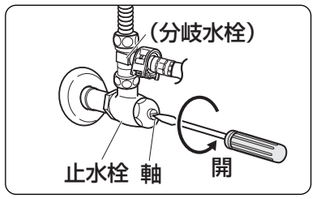
■水抜き後に再び使用するときは…

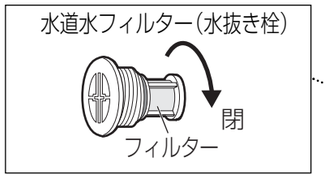
以下の手順で使用できることを確認してください。

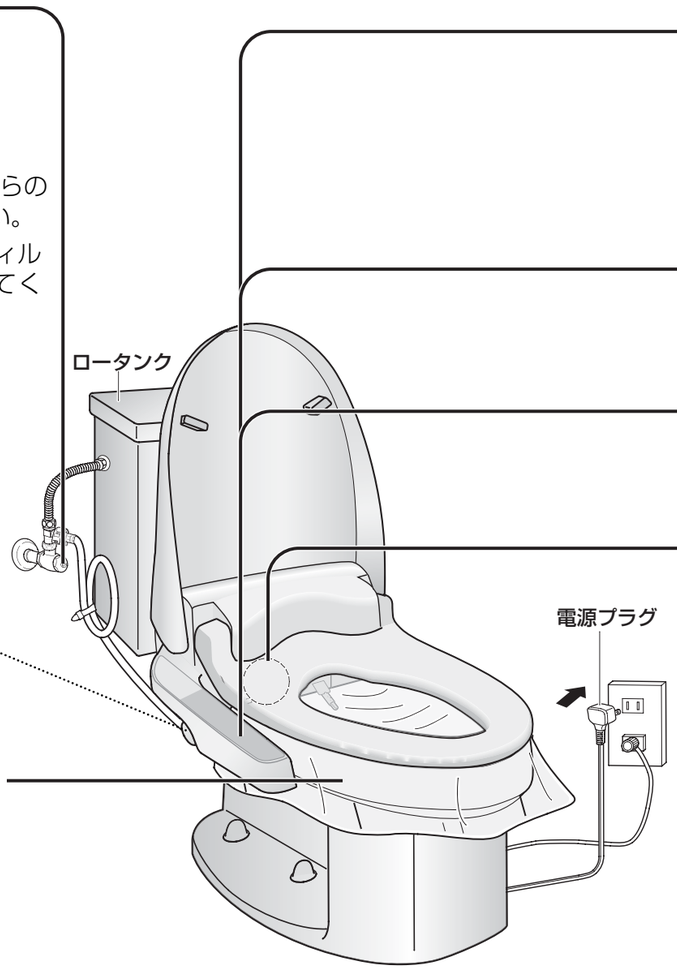
1 **マイナスドライバーまたは同梱のスパナで止水栓を開け、給水する**

- 止水栓の軸を開側へ回し、元どおりの状態に開けてください。
- 水道水フィルター（水抜き栓）からの水漏れがないかを確認してください。

➡ 水漏れしている場合は、水道水フィルター（水抜き栓）を確実に閉めてください。







2 **便座の下にお手持ちの薄手のビニールシートなどをはさむ**

水の飛び散り防止のため

3 **電源プラグを差し込む**

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わります。
- 本体の電源ランプが点灯しないまたは、漏電ランプが点灯した場合は、再度電源プラグを差し直してください。

◎温水タンクの空だき防止のため、温水を押し、温水温度を「切」にしてください。

4 おしり を押す

- おしりノズルが出て、本体の温水タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出ます。水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

◎着座スイッチがON状態になっていない場合は、ノズルお手入れ状態になり、水は下向きに出ます。

5 **もう一度** おしり **を押す**

- ビデノズルお手入れ状態になります。

6 **もう一度** おしり **を押す**

- ノズルが元に戻ります。

7 **便座の左後部を押しながら、着座スイッチ（本体内蔵）をON状態にする**

8 **そのまま押しながら、** おしり **または** ビデ **を押し、洗浄水が出ることを確認する**

- 着座スイッチがON状態になっていないと、洗浄水が上に出ません。
- 洗浄強さランプが点灯し、洗浄水が出ます。
- ビニールシートの上から見て、洗浄水がビニールシートに当たっていることを確認してください。
- 確認後、停止 を押し、停止してください。
- ノズルを洗浄する水が出ます。

9 **ビニールシートを取る**

10 便座 と 温水 **のスイッチで温度を調節し、通電約5分後、着座して便座と温水のあたたかさを確認する**【10・11ページ】

お願い

- **温水温度設定ランプ「高」と「低」が同時点滅している場合**
  温水タンクの空だき防止の警告表示です。止水栓が開いていることを確認し、電源プラグを抜いて約4～10分待ってください。その後、電源プラグを差して電源ランプが点灯したら上記手順 **4**～**10**を行ってください。

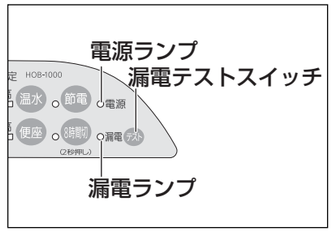
お知らせ

- 洗浄後、ノズル周辺部より便器内に水が出ますが、ノズル洗浄等の水で故障ではありません。

定期点検

■ 漏電検知の点検…月に1回（お客様が行ってください）

漏電による感電を防止するため点検を行ってください。
そのままにしておくと、異常がある場合、感電の原因となります。



1 漏電テストスイッチを押す

- 漏電ランプが点灯することを確認してください。

2 電源プラグを抜く

- 漏電ランプが消灯することを確認してください。

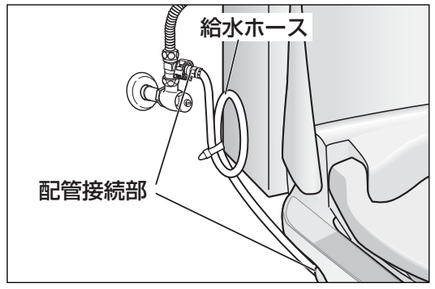
3 電源プラグを差す

- 本体の電源ランプが約10秒間点滅した後、点灯に変わることを確認してください。

点検時以外に、漏電テストスイッチを押さないでください。
異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。

■ 配管・本体まわりの点検…月に1回（お客様が行ってください）

そのままにしておくと、異常がある場合、水漏れの原因となります。



1 ゆるみ、傷み、破損がないかを確認する

- 配管接続部のゆるみや、給水ホースに傷みや破損がないかを確認してください。

2 水漏れがないか確認する

- 給水ホースや本体まわりからの水漏れがないかを確認してください。

異常がある場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、止水栓を全閉にしてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。

■ 定期点検…5年ごと

お買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。また、長期経過したものは、ご使用上支障がなくても、安全のため定期点検を受けてください。（有料）

愛情点検　長年ご使用の温水洗浄便座の点検を！

こんな症状はありませんか	ご使用中止
●水漏れする。（配管接続部、本体内部） ●本体や便座にひびや割れが入っている。 ●異常な音やこげ臭いにおいがする。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ●本体や操作部が異常に熱い。 ●その他の異常や故障がある。	事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜き止水栓を閉めて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。
また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）		A（回答）	参照ページ
洗浄について	洗浄水がうまく当らなかったり、便座の後方がぬれるのですが？	前方位置に座っているためです。中央部に座りなおしてください。	―
	設置後、洗浄水が出ないのですが?	①水道の元栓が閉まっていませんか。元栓を全開にしてください。 ②止水栓を開側へ回し調節してください。 ③工場出荷時は、本体内タンクが空状態ですので、おしりスイッチを押すと約1分後に洗浄水が出ます。	設置工事説明書
		④水道水圧は十分ありますか。 井戸水やマンションの最上階など水圧が低い場合があります。	―
便座・便ふたについて	座ったときに便座温度が冷たく、しばらくすると温かくなるのですが？	①節電ランプが点灯していませんか。 着座していない時間帯ごとに暖房便座の設定温度を自動的に下げて節電していますので、着座したときに冷たく感じる場合があります。	11
		②8時間切ランプが点灯していませんか。 暖房便座への通電を止めていますので、便座は冷たくなっています。	11
	便座に座るとがたつくのですが?	取付ボルトのゆるみが考えられますので、締め付け確認をお願いします。本体が便器から脱着できる構造のため締め付け後も少しがたつきが生じることがありますが異常ではありません。	設置工事説明書
温水について	温水が途中から水に変わってしまうのですが?	本体の温水タンクは0.85 Lです。中間の洗浄強さで約50秒使うと水に変わります。洗浄を止め、約5～7分待つとお湯になります。（水温によって異なります）	8
	温水が出なくなったのですが?	①便座カバーを使いますと、着座スイッチが正常に作動しない場合があります。カバーを外してご使用ください。	―
		②止水栓を閉めすぎていませんか。 止水栓を適量に開けてください。	18
各ランプについて	温水温度設定ランプの「高」と「低」が同時に点滅するのですが?	温水タンクの空だき防止の警告表示です。電源プラグを抜いて約4～10分待ってください。その後、18ページの「■水抜き後に再び使用するときは…」の手順に従ってください。	18
	電源を入れたとき電源ランプが点滅するのですが?	約10秒間点滅しますが、その後点灯に変わります。故障ではありません。	7、8、18、20
その他	便座から立ち上がったとき、および洗浄開始、洗浄終了時に、ノズル周辺部から便器に水が出ているのですが？	ノズル周辺部より便器内に水が出ますが、ノズル洗浄の水で故障ではありません。	8、9
	手洗いボールより水が飛び散るのですが？	水圧が高く、給水量が多いためです。 止水栓を再度調整してください。	設置工事説明書
	便器と便座のすき間（前方）より小水が飛び散るのですが？	便器内に向かって、排泄していただくようにお願いします。	―
	今まで使っていた便座カバーは使えますか？	便座カバーの使用はできません。	―
	買い替えや引っ越しするので、設置工事を頼みたいのですが？	お買い求めの販売店へご相談ください。	―

故障かな?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	調べるところ・原　因　・　対　策	参照ページ
電源ランプが消灯している	● 本体操作部の漏電ランプが点灯していませんか。 ➡ 電源プラグを差し直してください。	7
本体操作部を押しても動かない （おしり洗浄、ビデ洗浄など）	● 便座の先端部に座っていませんか。（着座スイッチ不作動） ➡ 便座の中央部に座りなおしてください。 ● 便器から本体便座がずれていませんか。 ➡ ずれを直して、ゆるまないように取付ボルトを締め付けてください。	－ 設置工事説明書
便座が冷たい 温水温度が低い （水が出る）	● 便座温度ランプまたは温水温度ランプが消灯していませんか。 ➡ 便座温度スイッチまたは温水温度スイッチを押してお好みの温度に合わせてください。 ● 8時間切ランプが点灯していませんか。 ● 節電ランプが点灯していませんか。	10 11 11
洗浄水の出が悪いとき （洗浄水が出ないとき）	● 元栓・止水栓が閉まっていませんか。 ➡ 元栓・止水栓の軸を開側へ回し調節してください。 ● ノズルに水あかなどがつまっていませんか。 ➡ ノズルを歯ブラシなどでお手入れしてください。 ● 水道水フィルター（水抜き栓）のフィルターがつまっていませんか。 ➡ 16ページ手順1～4に従って水道水フィルター（水抜き栓）を取り外し、フィルターを歯ブラシなどでお手入れしてください。	18 13 16
電源ランプが点滅する	● お手入れのときにノズルを無理に押すと電源ランプが点滅しながらノズルが収納されます。 ➡ 本体操作部の［おしり］を押すと、電源ランプが点灯し、再びお手入れできます。	－

次のような場合には必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

- 電源プラグを差し直しても本体の電源・節電・便座温度・温水温度・8時間切ランプが点滅する。**（電源プラグを抜くこと）**
- 電源プラグを差し直しても本体の電源ランプが点灯しない。
- 煙が出たり、異常な音やにおいがする。**（電源プラグを抜くこと）**

次のような場合は設定が取り消されますので、再設定をしてください。

このようなとき	再設定する機能	参照ページ
●電源プラグを抜いたとき ●漏電テストスイッチを押したとき ●停電が1秒以上続いたとき	● 洗浄強さ ● 節電/8時間切	10～11

仕様

項目＼品番		HOB-1000
給水方式		水道直結給水式
定格	電源	交流 100 V 50-60 Hz
定格	消費電力	458 W（本体：411 W 便座：47 W）
区分※1		貯湯式
年間消費電力量※2		183 kWh/年（253 kWh/年）
暖房便座	標準表面温度	「切」室温、3段階切り換え「低」約34 ℃／「中」約38 ℃／「高」約40 ℃
暖房便座	安全装置	温度ヒューズ
洗浄装置	最大流量	パワー洗浄 （おしり：1.0 L/分）
洗浄装置	流量調節	3段階
洗浄装置	標準温水温度	「切」水温、3段階切り換え「低」約37 ℃／「中」約38.5 ℃／「高」約40 ℃
洗浄装置	貯湯量	0.85 L
洗浄装置	安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止装置
その他の安全装置		漏電検知機能・着座スイッチ内蔵
使用温度範囲		0～40 ℃（給水温度） 0～35 ℃（周囲温度）
使用水圧範囲※3		49～735 kPa {0.5～7.5 kgf／cm²}
標準寸法（幅×高さ×奥行）		47 cm×18 cm×54 cm
標準質量		4.4 kg

※1：省エネ法（2012年度基準）の区分
※2：年間消費電力量は4人家族（男性2人・女性2人）で使用の場合。
〔室温:5 ℃（冬季）・15 ℃（春秋季）・28 ℃（夏季）、水温:15 ℃〕
おしり洗浄使用1日4回、ビデ洗浄使用1日8回、男性小用1日4回で省エネ法（2012年度基準）の測定方法に準拠し、標準品を測定して計算しました。（ ）内は8時間切設定による節電をしない場合の年間消費電力量です。
※3：使用水圧範囲が147 kPa以下では水勢調節幅が狭くなります。

抗菌樹脂を使用した部分

便座表面
● 試験機関…（財）日本紡績検査協会 ● 試験方法…フィルム密着法 JIS Z 2801 ● 抗菌方法…抗菌剤（銀ゼオライト）を樹脂に練り込み ● 試験結果…耐水処理 3.4～4.2 耐光処理 2.8～5.2

温水洗浄便座　重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、**火災や感電、室内浸水の原因**になります。異常に気づいたら、**電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング現象で火災の原因になります。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

温水洗浄便座協議会 http://www.sanitary-net.com フリーダイヤル 0120-39-7718 受付時間 平日09:00～17:00 後援 経済産業省